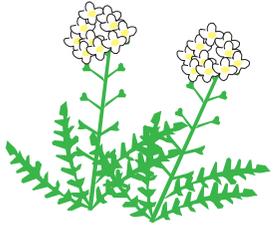


身近に見られる植物



ナズナ (アブラナ科)

花弁は4枚。白い花と逆三角形の果実をつける。
春の七草の一つ。別名ペンペン草



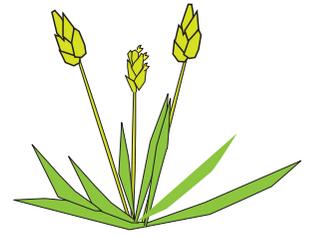
シロツメクサ (マメ科)

1枚の葉が3つに分かれている。
花は丸く集まる。
クローバーともいう。



カタバミ (カタバミ科)

葉は暗くなると閉じる。種子は
はじけて散る。クローバと似ているが
白い模様がなくハートに近い。



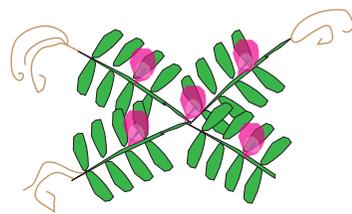
スズメノカタビラ (イネ科)

根のきわから細い葉が生えイネに
似た小さな花をたくさんつける。



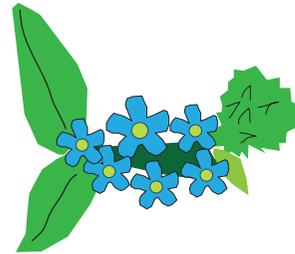
ハルジオン (キク科)

花びらは糸のように細い。
茎の中は空洞でつぼみはしたをむく。



カラスノエンドウ (マメ科)

葉の先は巻きひげになる。
チョウに似た赤っぽい花をつける。



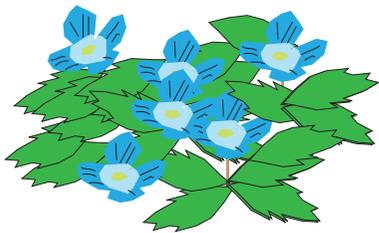
キュウリグサ (ムラサキ科)

葉をもむとキュウリのような
においがする



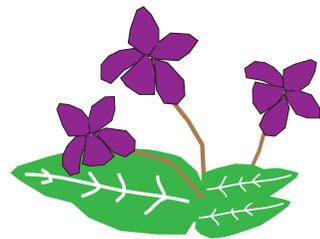
ドクダミ (ドクダミ科)

茎の上部に白い小さな花をたくさん
つける。日陰の湿った場所でみられる。
全体に独特のにおいがある。



オオイヌノフグリ (オオバコ科)

おしべは2本。青い花弁は1つだけ
小さい。



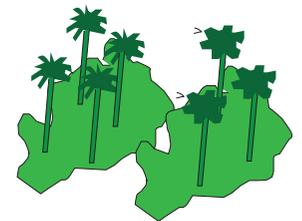
リュウキュウコスミレ (スミレ科)

冬から春に花をつける。
南西諸島の平地でよくみられる



スギナ (トクサ科)

スギナの中で胞子のつく
茎をつくしとよぶ



ゼニゴケ (ゼニゴケ科)

人家近くの日陰でしめった
所にみられる